

えん罪・仙台北陵クリニック事件 千葉刑務所 守大助さん面会記



9月26日(水)

午後から面会してきました。
前回の面会から間を開けずに会えてお互いに照れ笑い。
涼くなったね～、朝とか寒くない?そんな日常の当たり前の会話が出来る事が嬉しかった。
私が最近引き取ったチワワの話で盛り上がり、ペット保険や動物病院の話。
私が送った怪談本を読んだ後に「夜に読むんじゃないかな?」って後悔した話はお互い笑いしました。
まるで久しぶりに会い、カフェで話してるような感覚でした。
こんな風と一緒にカフェに行ったり、いろんな話を楽しく過ごせる時間ももっとあったらいいのに…そう思ってしまう。
先代の愛犬は大助さんに抱いてもらえなかったのが、今回引き取った子は抱きしめて欲しいと思っています。
大助さんが心から笑い、楽しい時間を過ごせる日が1日も早く来るように微力ですが頑張ります。

佐々木直美(千葉)



コンバインとサギ

お知らせ

面会記ですが最近では面会者が月の後半になり発行が次の月に発行できませんがご了承ください。

11月11日(日)9:30～千葉刑務所の矯正展あります。

激励先〒264-8585 千葉市若葉区貝塚町192 守大助さん宛 2018年 122号

● 11月は上旬にメール等でお知らせします。救援会神奈川県本部に問合せ。

□面会申込み/□ 国民救援会神奈川県本部 Tel050-3310-1368 fax045-663-7953。

E mail-kyuenkai-k1@clock.ocn.ne.jp 発行/国民救援会千葉県本部 Tel043-239-7730 fax043-239-7740

E・mail kyuen-chiba@kc4.so-net.ne.jp

えん罪・仙台北陵クリニック事件とは

守大助さん(当時29歳)が当時勤務していた医療法人北陵クリニックに於いて患者5人の点滴に筋弛緩剤を混入したとして2001年に逮捕。仙台地裁・高裁・最高裁で「無期懲役」が2008年2月に確定。同年7月から千葉刑務所に服役中。大助さんには動機がなく、患者の容体急変は筋弛緩剤の薬理効果と矛盾しており、科学鑑定でも否定されている。試料は鑑定時に全量消費・廃棄され、再鑑定ができない。

2012年2月10日仙台地裁に再審申立をし、2014年3月25日に再審棄却される。仙台高裁に即時抗告を行が2018年2月28日棄却される。3月5日最高裁に特別抗告を行う。

9月18日(火) ご両親

いつものとおり朝一番での面会。前回は目の下にクマが出ていたので心配していたが、今回はクマも取れ髪も黒黒して笑顔で入ってきたので仕事にも少し余裕が出てきた感じでした。

面会時間30分で話題にきりがありませんでしたが、先月下旬の台風直撃騒動の中での2泊3日の高知県日本母親大会の報告。高知民報からの取材で大きく報じられたことや訴えに対する反応、各支援者の協力で成功裏に終わり心配していた体調も不安なく帰宅できたことを伝えた。

樹木希林さんが16日亡くなったことで、息子の無罪を信じて釈放を願う母親役を演じた映画「約束」の宮城での初上映会の舞台挨拶でお目にかかり、色紙にサインいただく際に北陵クリニック事件のパンフレットを見ながら「あなたお母さんなの、こんな冤罪あるのね?」などと目を潤ませ私の手を両手で包んでくれた暖かい優しい温もりが未だに忘れられません。

息子も私の息遣いに戸惑い「無理しなくて来月は面会しなくていいよと言いながらも帰り際に来月はいつ頃と」聞いてくる息子が不憫でなりません。